

◆ 12月号の予定 ◆

特集 「産業連関表の新たな意義」

産業連関表は、総務省などの10府省庁の共同作業により5年おきに公表している基幹統計であり、経済全体の中で各産業がどのように相互依存しているかを示している。本特集では、2016年以降の統計改革の進展により大きく見直された本年公表の2020年産業連関表やその関連統計の統計整備の新たな意義を探る。

論考・論文

- ・産業連関表から供給・使用表体系へ－移行の意義と課題－
- ・SUT作成の意義－SNAの観点から－
- ・グローバル化に対応した産業連関表の拡張
- ・地域産業連関表を用いた産業連関分析の現状と今後の展開について
- ・産業連関表における消費税の取り扱いと基本価格表示の意義
- ・2020年産業連関表公表までの取組について

統計ウォッチング

- ・各県における自然減への転換とその拡大

統計寸評

- ・統計研究研修所－コロナ禍等を経た研修の充実－

データサイエンス系学部を訪ねて

- ・名古屋市立大学 データサイエンス学部

連載

- ・調査統計の未来へ (11)
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線 (22)
統計指導20年を総括して－統計・データサイエンス教育の今後の在り方を考える－
小中学校の統計・DS授業の実践事例 (シンフォニカ表彰：優秀事例)
・埼玉県さいたま市立桜木小学校
子どもたちの課題意識からはじめる統計的な問題解決の授業実践 第5学年算数科
「割合をグラフにして調べよう」－ミニデータバンクを作って宿題について考える－

統計利活用コーナー

- ・第8回地方公共団体における統計利活用表彰 特別賞 長崎県

英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・James Hanley, Michael Cronin 著 “Which lottery numbers do players play?” 抄訳と解説書 評
・佐野晋平 著『教育投資の経済学』

◎ 「特集」のテーマ (2024年6月号～2025年5月号)

- 2024年6月号 — 2024年全国計構造調査の意義と役割
- 7月号 — エネルギー需給の動向と展望
- 8月号 — 外国人労働者に選ばれる国になるには
- 9月号 — 統計データ分析コンペティションを振り返る
- 10月号 — 賃金動向の行方
- 11月号 — 統計科学の発展を担う行動計量学・計量心理学
- 12月号 — 産業連関表の新たな意義
- 2025年1月号 — 令和7年国勢調査への期待－実施年の幕開け－
- 2月号 — 社会保障分野のEBPM
- 3月号 — これからの農林統計の展望
- 4月号 — 国際貿易(1) 貿易構造の変化と課題
- 5月号 — 国際貿易(2) 経済・食料安全保障の観点

(注) 「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

◎ 連載

- ・国際統計制度とは何か
…2021年1月号から隔月連載
- ・公的統計の利活用推進と21世紀の統計行政
…2022年2月号から隔月
2023年2月号まで連載
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線
…2021年7月号～毎月12月号まで
2023年1月号～毎月7月号まで
2024年3月号～毎月連載
(8月号除く)
- ・2025 SNAの最前線
…2023年4月号～2024年2月号まで隔月連載